			7 mds 11	→ 	-1.							
2023年月		本上写	7院八土-	子専門学校	父							
音響芸術												
サウント	ドシス	テム2	,		1		1	T	1			T
対象	2 4	年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	栃木哲	他			実務 経験	有	職種	レコーデ	ィングエンジニ	ア		
授業概要												
音響関連∅	か用語 [。]	やその仕	:組みの理算	解を目的と	します。							
到達目標												
電気の基礎的理解を元に交流である音の理解を広げていく。またアナログ機器とデジタル機器を平行して学習していくことにより、音の処理を基本的な部分から理解し、音の変化の仕組みもイメージ出来るようにする。音に関する単位や様々な基本的な数値についてもしっかりと記憶して頂き、プロフェッショナル・エンジニアとしての知識を豊富にしていく。												
授業方法												
事が望まし	しい。言	講義形式	この授業では	ある。前回	までの各項	頁目を理:	解した上	での次項	各自で音響 目へ繋がる 加が望まし	ため、復	目語集を持 夏習も随時	特参する 特行いな
成績評価方法												
筆記試験、	授業院	勺 課題										
履修上の注意 この授業では、音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通 機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は実習関 連の試験を受験することができない。												
教科書教	材											
音響映像記	受備マン	ニュアル	/									
回数						授美	業計画					
第1回		1年	次の復習、	音について	の再認識							
第2回		ProTo	oolsシステ	ム構成								

エフェクター基礎 1

第3回

2023年度	日本工学院八王子専門学校					
音響芸術科						
サウンドシス	ステム 2					
第4回	エフェクター基礎 2					
第5回	マスタリング					
第6回	ラウドネス・ノーマライゼーション					
第7回	アート表現と評論					
第8回	コンプレッサーとサイドチェイン					
第9回	AIプラグインがもたらす将来					
第10回	アナログ・レコード					
第11回	デジタルフォーマット					
第12回	Super Audio CD & DSD					
第13回	各種パッケージ (CD、DVD)					
第14回	各種パッケージ (Blu-ray)					
第15回	後期まとめ					